



## 安全データシート

Page 1 of 12

ガラス用 3g (100pc)

SDS No. : 289035

V001.3

ヘンケルジャパン株式会社

改訂: 31.07.2022

発行日: 18.10.2023

### 1. 化学物質等及び会社情報

製品コード : 2313199  
製品名 : ガラス用 3g (100pc)

推奨される用途 : 接着剤

会社名 :  
ヘンケルジャパン株式会社  
東京都品川区東品川2-2-8  
スフィアタワー天王洲 14F  
140-0002  
電話番号 : +81 (45) 758-1800

### 2. 危険有害性の要約

GHS分類 :

| 危険有害性クラス        | 危険有害性区分 |
|-----------------|---------|
| 引火性液体           | 区分 4    |
| 皮膚感作性           | 区分 1    |
| 水生環境有害性 短期 (急性) | 区分 3    |

GHSラベル要素:

絵表示:



注意喚起語:

警告

|                 |  |
|-----------------|--|
| <b>危険有害性情報:</b> | H227 可燃性液体<br>H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。<br>H402 水生生物に有害。   |
| <b>安全対策</b>     | P210 熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。禁煙。<br>P261 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。<br>P272 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。<br>P273 環境への放出を避けること。<br>P280 保護手袋、保護眼鏡及び保護面を着用すること。              |
| <b>応急措置:</b>    | P302+P352 皮膚に付着した場合：多量の水と石けんで洗うこと。<br>P333+P313 皮膚刺激または発疹が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること。<br>P362+P364 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。<br>P370+P378 火災の場合：乾燥砂、粉末消火薬剤または水溶性液体用泡消火薬剤を使用する。 |
| <b>保管:</b>      | P403+P235 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。  |
| <b>廃棄:</b>      | P501 廃棄するときは、適用法令、及び製品特性に従い、適切な処理・廃棄施設に内容物/容器を廃棄すること。  |

製品ラベルの有害性情報は、個別の安全データシートの記載内容と異なる場合があります。

### 3. 組成、成分情報

単一製品・混合物： 混合物  
化学特性： シアノアクリレート接着剤

#### 危険有害成分及び濃度

| 成分  | wt%                |
|---|--------------------|
| アセチルクエン酸トリエチル                             | >= 30 - < 40 %     |
| 6,6'-ジ-tert-ブチル-4,4'-ジメチル-2,2'-メチレンジフェノール | >= 0.1 - < 0.3 %   |
| ヒドロキノン                                    | >= 0.025 - < 0.1 % |

### 4. 応急処置

**皮膚にかかった場合：** 皮膚を接着した場合無理にはがさないようにしてください。温水に浸してゆっくり尖ってないスプーンのようなものではがすようにしてください。シアノアクリレートは硬化時に発熱します。まれに大量にこぼした場合やけどするおそれがあります。やけどの治療は、接着剤を取り除いてから行うこと。もし唇を接着してしまった場合は温水で湿らせてはがすこと。通常は唾液により自然にはがれます。接着した唇をはがすときに、無理やりはがそうとしないこと。

**眼に入った場合：** もし眼を接着してしまった場合は温水で湿らせたパッドを当てること。シアノアクリレートは眼中たんぱく質を接着する、涙を誘発し接着剤を剥離する。接着されたものが完全に剥離するまで眼帯等をすること。通常1～3日かかる。眼を無理に開けようとしなくてください。硬化したかけらがまぶたの裏に入り眼球を傷つける恐れがあるので、医師の診断が必要です。

**飲み込んだ場合：** 気道がふさがれていないことを確認してください。製品は直ちに重合するため飲み込むことはほとんど不可能です。唾液により徐々に硬化されたものが剥がれ落ちるでしょう（数時間）。

**吸入した場合：** 空気の新鮮な場所へ移動させ、不快感が続く場合医師の診察を受けること。

## 5. 火災時の措置

**適切な消火剤：** 二酸化炭素、泡、粉末、水噴射、微細な水噴霧

**使ってはならない消火剤：** 高圧水噴射

**消火活動を行うものの特別な保護具及び予防措置：** 自給式呼吸器を着用すること。  
保護具を着用すること。

## 6. 漏出時の措置

**人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：** 保護具を着用すること。

こぼれた製品で滑る危険がある。  
十分な換気を保つこと。  
皮膚や眼に触れないようにすること。

**環境に対する注意事項** 下水管／地表水／地下水中に捨てないこと。

**封じ込め及び浄化の方法及び機材：** 液体吸収材（砂、泥炭、おがくず）を用いて取り除く。  
13項に基づいて汚染された製品を廃棄物として処分する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

**取扱い  
安全取扱い注意事項** 容器を開けるとき及び、取り扱うときは十分注意すること。

作業場が適切に換気されていることを確かめる。

皮膚や眼に触れないようにすること。

**保管：  
安全な保管条件：** 最適な棚寿命を保つために、元の容器で 2 - 8° C (35.6 - 46.4 ° F) で冷蔵保管すること。

## 8. 暴露防止及び保護措置

| 成分【規制物質】 | ppm | mg/m <sup>3</sup> | 値型 | 短期暴露限界カテゴリー/備考 | Regulatory list |
|----------|-----|-------------------|----|----------------|-----------------|
|----------|-----|-------------------|----|----------------|-----------------|

管理濃度  
参考

| 成分【規制物質】 | ppm | mg/m <sup>3</sup> | 値型 | 短期暴露限界カテゴリー/備考 | Regulatory list |
|----------|-----|-------------------|----|----------------|-----------------|
|----------|-----|-------------------|----|----------------|-----------------|

設備対策： しっかりした換気／排気を確保すること。

保護具：

呼吸用保護具： 十分な換気を保つこと。

手の保護具： ニトリルなどの耐薬品性の手袋の使用が望ましい。  
多量を取扱う場合は、ポリエチレンもしくはポリプロピレン製手袋の使用が望ましい。  
PVC、ゴムまたはナイロン製手袋を使用しないこと。  
実際の現場の経験では様々な外部影響（たとえば温度）により耐薬品手袋の耐久性はかなり短い場合がある。エンドユーザーは必要な危険評価をする必要がある。損傷している兆候が出ている手袋は取り替える。

眼の保護具： 保護眼鏡を着用すること。

皮膚及び身体の保護具： 適切な保護服を着用すること。

## 9. 物理的及び化学的性質

|              |                               |           |                             |
|--------------|-------------------------------|-----------|-----------------------------|
| 物理的状態：       | 液体                            | 色：        | 無色から黄                       |
| pH：          | 該当なし、混合物は水と反応する。              | 臭い：       | 刺激性                         |
| 沸点：          | > 100 ° C (> 212 ° F)         | 融点：       | 該当なし、製品は液体                  |
| 蒸気密度：        | = 3                           | 密度：       | 1.1 g/cm <sup>3</sup>       |
| 引火点：         | 80 - 93 ° C (176 - 199.4 ° F) | 蒸気圧：      | データ無し/対象外                   |
| 爆発範囲（下限）：    | データ無し/対象外                     | 爆発範囲（上限）： | データ無し/対象外                   |
| 水への溶解度       | データ無し/対象外                     | 粘度：       | 15 - 110 mm <sup>2</sup> /s |
| 自然発火点：       | データ無し/対象外                     | 可燃性：      | データ無し/対象外                   |
| オクタノール/水分配係数 | データ無し/対象外                     | 分解温度：     | データ無し/対象外                   |
| 粒子特性         | データ無し/対象外                     |           |                             |

## 10. 安定性及び反応性

安定性 :

反応性 : 水、アミン類、アルカリおよびアルコール存在下で、急速な重合発熱が起こる。

化学的安定性 : 推奨保存状態下では安定している。  
避けるべき条件 : 意図された目的に使用される場合は、無し

危険有害な分解生成物 : 不明

## 11. 有害性情報

一般毒性情報 : これまでの経験に基づく、製品の正しい使用および取扱いで害が及ぶことは無い。

### 11.1. 毒物学的影響情報

急性毒性（経口） :

シアノアクリレートは比較的毒性が低いと考えられている。急性又は50%致死量は>5000mg/kg (rat)である。口の中で過敏に重合するため飲み込む事はほとんど不可能である。

| 有害物質                                      | 値型    | 値              | 種     | 試験方法                                     |
|---|-------|----------------|-------|--|
| アセチルクエン酸トリエチル                             | LD50  | > 7,000 mg/kg  | ラット   | 指定されていません                                |
| 6,6'-ジ-tert-ブチル-4,4'-ジメチル-2,2'-メチレンジフェノール | LD 50 | 11,000 mg/kg   | マウス   |  |
| 6,6'-ジ-tert-ブチル-4,4'-ジメチル-2,2'-メチレンジフェノール | LD 50 | 11,000 mg/kg   | マウス   |  |
| 6,6'-ジ-tert-ブチル-4,4'-ジメチル-2,2'-メチレンジフェノール | LD50  | > 10,000 mg/kg | ラット   | 指定されていません                                |
| ヒドロキノン                                    | LD 50 | 320 mg/kg      | ラット   |  |
| ヒドロキノン                                    | LD 50 | 50 mg/kg       | ネコ    |  |
| ヒドロキノン                                    | LD 50 | 299 mg/kg      | 犬     |  |
| ヒドロキノン                                    | LD 50 | 245 mg/kg      | マウス   |  |
| ヒドロキノン                                    | LD 50 | 550 mg/kg      | モルモット |  |
| ヒドロキノン                                    | LD 50 | 540 mg/kg      | ウサギ   |  |
| ヒドロキノン                                    | LD50  | 367 mg/kg      | ラット   | OECD Guideline 401 (Acute Oral Toxicity) |

急性毒性（経皮） :

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

| 有害物質                                      | 値型    | 値              | 種     | 試験方法                                       |
|---|-------|----------------|-------|--|
| 6,6'-ジ-tert-ブチル-4,4'-ジメチル-2,2'-メチレンジフェノール | LD50  | > 10,000 mg/kg | ラット   | 指定されていません                                  |
| ヒドロキノン                                    | LD 50 | > 1,000 mg/kg  | モルモット |  |
| ヒドロキノン                                    | LD 50 | > 900 mg/kg    | ラット   |  |
| ヒドロキノン                                    | LD50  | > 2,000 mg/kg  | ウサギ   | OECD Guideline 402 (Acute Dermal Toxicity) |

**急性毒性（吸入）：**

高濃度の蒸気への長期曝露は敏感な個人に慢性効果をまねく恐れがある。  
大気中の湿気が50%未満の乾燥した状態では、蒸気は眼および呼吸器系を刺激する恐れがある。

| 有害物質   | 値型   | 値              | 試験環境  | ばく露時間 | 種   | 試験方法 |
|--------|------|----------------|-------|-------|-----|------|
| ヒドロキノン | LC 0 | >= 7,800 mg/m3 | エアゾール | 1 h   | ラット |      |
| ヒドロキノン | LC 0 | >= 2,800 mg/m3 | エアゾール | 1 h   | ラット |      |

**皮膚腐食性／刺激性：**

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

| 有害物質   | 結果    | ばく露時間 | 種   | 試験方法               |
|--------|-------|-------|-----|--------------------|
| ヒドロキノン | 刺激性なし | 24 h  | ウサギ | Weight of evidence |

**眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性：**

液体製品は瞼を接着させる。乾燥した大気中（RH < 50%）では刺激および催涙作用をもたらす恐れがある。

物質の情報なし

**呼吸器又は皮膚感作性：**

混合物は、混合物に存在する分類された物質の閾値を基に分類されている。

| 有害物質   | 結果          | テストタイプ                             | 種     | 試験方法   |
|--------|-------------|------------------------------------|-------|--|
| ヒドロキノン | sensitising | Guinea pig maximisation test       | モルモット | equivalent or similar to OECD Guideline 406 (Skin Sensitisation)                         |
| ヒドロキノン | sensitising | Mouse local lymphnode assay (LLNA) | マウス   | equivalent or similar to OECD Guideline 429 (Skin Sensitisation: Local Lymph Node Assay) |

**生殖細胞変異原性:**

混合物は、混合物に存在する分類された物質の閾値を基に分類されている。

| 有害物質                                      | 結果 | 試験項目/管理経路  | 代謝活性化/ばく露時間 | 種   | 試験方法  |
|---|----|--|-------------|-----|---|
| 6,6'-ジ-tert-ブチル-4,4'-ジメチル-2,2'-メチレンジフェノール | 陰性 | bacterial reverse mutation assay (e.g Ames test) | 有無          |     | OECD Guideline 471 (Bacterial Reverse Mutation Assay)   |
| ヒドロキノン                                    | 陰性 | bacterial reverse mutation assay (e.g Ames test) | 有無          |     | equivalent or similar to OECD Guideline 471 (Bacterial Reverse Mutation Assay)                    |
| ヒドロキノン                                    | 陰性 | in vitro mammalian chromosome aberration test    | 有無          |     | OECD Guideline 473 (In vitro Mammalian Chromosome Aberration Test)                                |
| ヒドロキノン                                    | 陽性 | mammalian cell gene mutation assay               | 有無          |     | OECD Guideline 476 (In vitro Mammalian Cell Gene Mutation Test)                                   |
| ヒドロキノン                                    | 陽性 | intraperitoneal                                  |             | マウス | equivalent or similar to OECD Guideline 474 (Mammalian Erythrocyte Micronucleus Test)             |
| ヒドロキノン                                    | 陰性 | oral: gavage                                     |             | ラット | equivalent or similar to OECD Guideline 478 (Genetic Toxicology: Rodent Dominant Lethal Test)     |
| ヒドロキノン                                    | 陽性 | intraperitoneal                                  |             | マウス | equivalent or similar to OECD Guideline 483 (Mammalian Spermatogonial Chromosome Aberration Test) |

**発がん性**

混合物は、混合物に存在する分類された物質の閾値を基に分類されている。

| 成分     | 結果           | ばく露経路        | ばく露時間 / 処置頻度   | 種   | 性別          | 試験方法   |
|--------|--------------|--------------|----------------|-----|-------------|--|
| ヒドロキノン | carcinogenic | oral: gavage | 103 w<br>5 d/w | ラット | male/female | equivalent or similar OECD Guideline 453 (Combined Chronic Toxicity / Carcinogenicity Studies) |
| ヒドロキノン | carcinogenic | oral: gavage | 103 w<br>5 d/w | マウス | female      | equivalent or similar OECD Guideline 453 (Combined Chronic Toxicity / Carcinogenicity Studies) |

**生殖毒性**

混合物は、混合物に存在する分類された物質の閾値を基に分類されている。

| 有害物質                                      | 結果 / 値   | テストタイプ    | ばく露経路           | 種   | 試験方法   |
|---|--|-----------|-----------------|-----|--|
| 6,6'-ジ-tert-ブチル-4,4'-ジメチル-2,2'-メチレンジフェノール | NOAEL P 12.5 mg/kg   | screening | oral:<br>gavage | ラット | OECD Guideline 421<br>(Reproduction /<br>Developmental Toxicity<br>Screening Test) |
| ヒドロキノン                                    | NOAEL P 15 mg/kg<br>NOAEL F1 150 mg/kg<br>NOAEL F2 150 mg/kg | 2世代試験     | oral:<br>gavage | ラット | EPA OTS 798.4700<br>(Reproduction and<br>Fertility Effects)                        |

**特定標的臓器毒性（単回ばく露）：**

データなし

**特定標的臓器毒性（反復ばく露）：**

混合物は、混合物に存在する分類された物質の閾値を基に分類されている。

| 有害物質   | 結果 / 値           | ばく露経路           | ばく露時間／処理<br>頻度       | 種   | 試験方法   |
|--------|------------------|-----------------|----------------------|-----|--|
| ヒドロキノン | NOAEL 50 mg/kg   | oral:<br>gavage | 13 w<br>5 d/w        | ラット | 指定されていません  |
| ヒドロキノン | NOAEL 73.9 mg/kg | dermal          | 13 w<br>6 h/d, 5 d/w | ラット | equivalent or similar<br>to OECD Guideline 411<br>(Subchronic Dermal<br>Toxicity: 90-Day<br>Study) |

**誤えん有害性：**

データなし

12. 環境影響情報

一般環境有害性情報:

下水管/地表水/地下水中に捨てないこと。

12.1. 生態毒性

毒性 (魚) :

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

| 有害物質                                      | 値型   | 値                           | ばく露時間 | 種                   | 試験方法   |
|---|------|-----------------------------|-------|---------------------|--|
| 6,6'-ジ-tert-ブチル-4,4'-ジメチル-2,2'-メチレンジフェノール | LC50 | Toxicity > Water solubility | 96 h  | Oryzias latipes     | OECD Guideline 203 (Fish, Acute Toxicity Test) |
| ヒドロキノン                                    | LC50 | 0.638 mg/l                  | 96 h  | Oncorhynchus mykiss | OECD Guideline 203 (Fish, Acute Toxicity Test) |

毒性 (ミジンコ) :

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

| 有害物質                                      | 値型   | 値                           | ばく露時間 | 種             | 試験方法   |
|---|------|-----------------------------|-------|---------------|--|
| アセチルクエン酸トリエチル                             | EC50 | > 100 mg/l                  | 48 h  | Daphnia magna | OECD Guideline 202 (Daphnia sp. Acute Immobilisation Test) |
| 6,6'-ジ-tert-ブチル-4,4'-ジメチル-2,2'-メチレンジフェノール | EC50 | Toxicity > Water solubility | 48 h  | Daphnia magna | OECD Guideline 202 (Daphnia sp. Acute Immobilisation Test) |
| ヒドロキノン                                    | EC50 | 0.134 mg/l                  | 48 h  | Daphnia magna | OECD Guideline 202 (Daphnia sp. Acute Immobilisation Test) |

水生無脊椎動物に対する慢性毒性

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

| 有害物質                                      | 値型   | 値                           | ばく露時間 | 種             | 試験方法  |
|---|------|-----------------------------|-------|---------------|---|
| 6,6'-ジ-tert-ブチル-4,4'-ジメチル-2,2'-メチレンジフェノール | NOEC | Toxicity > Water solubility | 21 d  | Daphnia magna | OECD 211 (Daphnia magna, Reproduction Test) |
| ヒドロキノン                                    | NOEC | 0.0057 mg/l                 | 21 d  | Daphnia magna | OECD 211 (Daphnia magna, Reproduction Test) |

毒性 (藻類) :

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

| 有害物質                                      | 値型   | 値                           | ばく露時間 | 種   | 試験方法  |
|---|------|-----------------------------|-------|---|---|
| 6,6'-ジ-tert-ブチル-4,4'-ジメチル-2,2'-メチレンジフェノール | EC50 | Toxicity > Water solubility | 72 h  | Pseudokirchneriella subcapitata (reported as Selenastrum capricornutum) | OECD Guideline 201 (Alga. Growth Inhibition Test) |
| 6,6'-ジ-tert-ブチル-4,4'-ジメチル-2,2'-メチレンジフェノール | NOEC | Toxicity > Water solubility | 72 h  | Pseudokirchneriella subcapitata (reported as Selenastrum capricornutum) | OECD Guideline 201 (Alga. Growth Inhibition Test) |
| ヒドロキノン                                    | EC50 | 0.335 mg/l                  | 72 h  | Selenastrum capricornutum (new name: Pseudokirchneriella subcapitata)   | OECD Guideline 201 (Alga. Growth Inhibition Test) |

### 微生物に対する毒性

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

| 有害物質                                      | 値型   | 値                           | ばく露時間  | 種                | 試験方法   |
|---|------|-----------------------------|--------|------------------|--|
| 6,6'-ジ-tert-ブチル-4,4'-ジメチル-2,2'-メチレンジフェノール | EC50 | Toxicity > Water solubility | 3 h    | activated sludge | OECD Guideline 209 (Activated Sludge, Respiration Inhibition Test) |
| ヒドロキノン                                    | EC50 | 0.038 mg/l                  | 30 min |                  | 指定されていません  |

### 12.2. 残留性と分解性

| 有害物質                                      | 結果   | テストタイプ  | 分解性       | ばく露時間  | 試験方法   |
|---|--|---------|-----------|--------|--|
| アセチルクロエン酸トリエチル                            | inherently biodegradable                         | aerobic | 75 %      | 28 day | OECD Guideline 301 F (Ready Biodegradability: Manometric Respirometry Test)        |
| 6,6'-ジ-tert-ブチル-4,4'-ジメチル-2,2'-メチレンジフェノール | under test conditions no biodegradation observed | aerobic | 0 %       | 28 d   | OECD Guideline 301 C (Ready Biodegradability: Modified MITI Test (I))              |
| ヒドロキノン                                    | readily biodegradable                            | aerobic | 75 - 81 % | 30 d   | EU Method C.4-E (Determination of the "Ready" Biodegradability Closed Bottle Test) |

### 12.3. 生態蓄積性

| 有害物質                                      | 生物濃縮係数    | ばく露時間 | 温度 | 種               | 試験方法   |
|---|-----------|-------|----|-----------------|--|
| 6,6'-ジ-tert-ブチル-4,4'-ジメチル-2,2'-メチレンジフェノール | 320 - 780 | 60 d  |    | Cyprinus carpio | OECD Guideline 305 E (Bioaccumulation: Flow-through Fish Test) |

### 12.4. 土壌中の移動性

| 有害物質                                      | LogPow | 温度     | 試験方法   |
|---|--------|--------|--|
| アセチルクエン酸トリエチル                             | 1.34   |        | 指定されていません  |
| 6,6'-ジ-tert-ブチル-4,4'-ジメチル-2,2'-メチレンジフェノール | 6.25   | 20 ° C | OECD Guideline 107 (Partition Coefficient (n-octanol / water), Shake Flask Method) |
| ヒドロキノン                                    | 0.59   |        | EU Method A.8 (Partition Coefficient)  |

#### 12.5. PBTおよびvPvB評価の結果

この混合物には、PBTまたはvPvBと評価される物質は含まれていません。

#### 12.6. 他の有害影響

データなし

### 13. 廃棄上の注意

#### 推奨廃棄方法:

国及び地方自治体の規則に従って廃棄すること。

#### 汚染容器包装の廃棄方法:

使用後は、残留物の付着したチューブ、箱、ボトル は化学汚染物質として公認された埋め地に処理するか焼却する。  
廃棄処理は必ず法規制に従って行うこと。

### 14. 輸送上の注意

Marine transport IMDG:  
危険物には該当しない。

Air transport IATA:

Class: 9  
Packing group: III  
Packing instructions (passenger) 964  
Packing instructions (cargo) 964  
UN no. : 3334  
Label: 9  
Proper shipping name: Aviation regulated liquid, n.o.s. (Cyanoacrylate ester)  
追記 IATA: Primary packs containing less than 500ml are unregulated by this mode of transport and may be shipped unrestricted.

#### 国内輸送規制:

陸上輸送：消防法、労働安全衛生法、毒劇物法等に該当する場合は定められている運送方法に従う。  
海上輸送：船舶安全法に定められている運送方法に従う。  
航空輸送：航空法に定められている運送方法に従う。

### 15. 適用法令

#### 労働安全衛生法:

該当しない

#### 消防法

第4類引火性液体, 第4類 第3石油類(非水溶性)

毒物及び劇物取締法 : 該当しない

PRTR 法 : 該当しない

## 16. その他の情報

発行日: 18.10.2023

注意: この安全性データシートは日本工業規格 (JIS: Z 7253) に基づいて作成しており、日本の法律にのみ則った情報を提供しております。他の管轄地域又は国の実体法または輸出法に関しては、いかなる種類の表明又は保証も行いません。ここに提供している情報が他の管轄地域の実質的な輸出又はその他の法令に準拠していることを輸出前に確認して下さい。ご不明な点がございましたらHenkel Product Safety and Regulatory Affairsにお問い合わせ下さい。

この情報は現況での化学的根拠と発送された製品の状況を元に作成したものである。またこれは安全を説明するための情報で、製品の特性を保証するものではない。

ここに表明したデータは信頼性があると考えられるが単に情報として挙げただけである。Henkel社のコントロールが及ばない人々が得た結果については責任を持たない。Henkel製品の適切性、特定目的で使用する際の製造方法、Henkel社製品の取扱いや使用に関わる危険性から人や資産を守るための予防処置などの見極めはユーザーの責任の元行われるべきである。以上の説明の元、Henkel社は、明示・暗示に関わらず、特定用途に対する市場性・適切性を含み、製品の販売・使用に関わるすべての保障への責任を拒否する。更にHenkel社は、損益を含むいかなる2次的・偶発的損害についての責任も拒否する。